



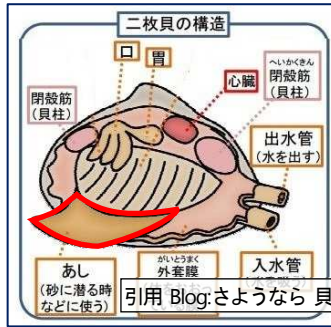
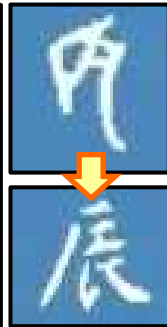
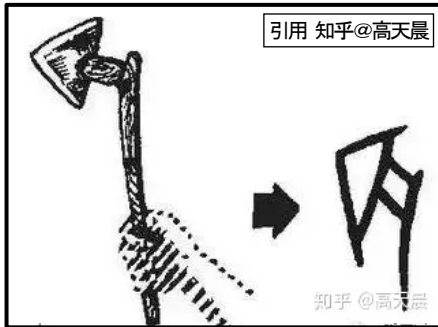
# 乙島っ子

令和5年度 NO. 25

令和6年 1月 9日 倉敷市立乙島小学校

## 「レジリエンス」を身に付ける

今日から3学期が始まりました。始業式では、当然、龍、辰年にちなんだお話をしましたが、「龍」に「辰」という漢字を当てたのには、「石鍬を持って農耕に勤しむ『朝』」に、「龍」の「活力旺盛で、大きく成長する様子が重なるから…」ということもあったそうです。一方、「辰」は、「二枚貝が殻から足を出している象形」ともされています。



3学期のテーマとして、「『レジリエンス』を身に付ける」ことを唱えました。「精神的回復力」と解されています。



上記概念の簡単なところだけを説明し、「どうしたら身に付けられるか」についてポイントを三つ提案しました。また、私たち大人の側にも、「鍛えさせる」ポイントとして、同じく三つ提案しました。

**鍛えるポイント ①**

- 感情をコントロールする

しかられて、いやな気持ちになったけど、宿題もしよう。

**鍛えるポイント ②**

- 自分の「強み」をもつ

わたしは国語が得意だわ。苦手な算数も克服しよう。

**鍛えるポイント ③**

- 成功している人を真似る

ぼくもあの人のように正々堂々と謝れる人になろう。

**鍛えさせるポイント ①**

- 感情をコントロールする

例えば、叱る際には、理由を丁寧に説明しながら行う。

**鍛えさせるポイント ②**

- 自分の「強み」をもつ

「強み」を具体的に言葉で伝え、「弱み」の克服法を助言。

**鍛えさせるポイント ③**

- 成功している人を真似る

ことあるごとに、「お手本さん」を指摘し、真似ぶを促す。